

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神医学Ⅱ (理学療法学科・作業療法学科)		必修 (作) 選択 (理)	2	2・3 (理) 2 (作)	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
竹内 潤一	講師控室	kyoumu		講義終了後	
授業の目的・概要	精神疾患の基礎を理解し、専門的知識を習得する。また、精神医学の歴史と進歩、代表的な精神疾患・障害の重要な症状、病態、その治療を理解できるよう学習する。さらに新たな精神疾患の動向を認知し、理学療法・作業療法の発展に寄与できる実力を養う。講義はTeamsを使用した同時双方向遠隔授業で行う。				
学習上の助言	重要なポイントを講義にて分かりやすく解説する。教科書・講義の内容で、理解できないこと・問題点などを積極的に質問し、習得してくれることを期待している。				
教科書	精神医学 第4版 (標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野) / 編集: 上野武治/ 出版社: 医学書院				
参考書	現代臨床精神医学 改訂第12版/ 原著: 大熊輝雄/ 出版社: 金原出版 精神医学 (精神保健福祉士養成セミナー1 第6版) / 編集: 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会/ 出版社: へるす出版				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神医学の概論を理解でき、必要な知識を習得している。			PT(1), OT(1)	
②	代表的な精神疾患・障害を理解し、その治療法を説明できる。			PT(2), OT(2)	
③	精神疾患における人権擁護の重要性を理解し、思いやりの精神を身につけている。			PT(3), OT(3)	
④	情熱を持って精神医学に取り組む。			PT(4,5,6), OT(1,2,3)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	代表的疾患と治療について学ぶ 1 てんかん	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P114～124 を読む。	4	
2	代表的疾患と治療について学ぶ 2 統合失調症 1	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P125～146 を読む。	4	
3	代表的疾患と治療について学ぶ 3 統合失調症 2	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P125～146 を読む。	4	
4	代表的疾患と治療について学ぶ 4 気分障害 1	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P147～161 を読む。	4	
5	代表的疾患と治療について学ぶ 5 気分障害 2	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P147～161 を読む。	4	
6	代表的疾患と治療について学ぶ 6 気分障害 3	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P147～161 を読む。	4	
7	神経症性障害について学ぶ 1	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P162～173 を読む。	4	
8	神経症性障害について学ぶ 2	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P162～173 を読む。	4	
9	摂食障害と睡眠障害について学ぶ	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P174～178 を読む。	4	
10	成人のパーソナリティー・行動・性の障害について学ぶ	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P179～185 を読む。	4	
11	小児・児童期の精神障害について学ぶ	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P186～204 を読む。	4	
12	コンサルテーション・リエゾン 精神医学について学ぶ	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P205～209 を読む。	4	
13	心身医学について学ぶ	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P210～212 を読む。	4	
14	ライフサイクルにおける精神医学について学ぶ	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P213～228 を読む。	4	
15	前期講義範囲の総括	講義 (同時双方向型遠隔授業)	講義内容の復習をする。	4	
試					

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系/旧カリキュラム】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	20	0	0	0	0	20	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	講義内容と教科書から出題する。				答案を返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>担当教員：◎竹内 潤一</p> <p><b>教員の実務経験：</b>医師として 34 年間、精神医学およびその基礎研究や臨床研究の経験。米国、カナダ、日本において心理学部、医学部や看護学校の大学院生や医学生、看護学生、日本の専門学校において理学・作業療法学科の学生などに講義やセミナーを行ってきた。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b>臨床の場で必要と思われる病気や精神的な病態や診断、診療などの考え方を教科書および実践例を通して学習する。</p> <p><b>その他：</b>学生の理解度やコロナウイルス感染症の状況等により授業内容や進路を変更する可能性がある。その場合は Teams、授業中のアナウンス、メール、掲示板等で通知し、シラバスを変更する。 遠隔授業の途中で通信障害等が生じた場合は後日録画ビデオで授業を視聴すること。その場合は質問を Teams のチャットで受け付ける。</p>								